



令和8年占冠村二十歳を祝うつどい



あかいし ひよ
赤石 妃陽さん

お父さん、お母さん、今まで私を育ててくれてありがとうございます。私は、無事二十歳を迎えることができました。これからは、社会人として、今までの学生生活とは異なる環境で過ごします。今まで以上に責任感を持って自分の仕事と向き合いたいと思います。



かなもり ゆい
金森 夕苺さん

二十歳を迎え、もう自立して生きていかねばならないということをひしひしと感じています。今はまだ学生ですが、これから働くのか、研究するのかまったく考えておらず、その時のノリで生きている人間なので、これからの人生も何とかできるよう支えてほしいなあと思っています。もうちょっとよろしくね。

すずき しゆな
鈴木 朱那さん

二十歳を迎え、大人としての責任と自覚を強く感じています。これまで支えてくれた方々への感謝を忘れず、周囲への思いやりと謙虚さを大切にしながら、目標に向かって研鑽を重ね、社会の一員として誠実に歩んでいきたいです。



わたなべ けんせい
渡辺 堅成さん

今は青山学院大学に通いながら野球とアルバイトに励んでいます。野球は全国出場、アルバイトではパイトリダー昇格を目標に頑張ります。父と母には、高校と大学に通わせていただき本当に感謝しています。育てていただいた占冠村にも恩返ししていけるように精進してまいります。



祝 二十歳 令和8年占冠村 二十歳を祝うつどい

令 和8年1月10日(土)、占冠村総合センターで「二十歳を祝うつどい」が開催され、平成17年4月2日〜平成18年4月1日生まれの占冠村出身者4人が二十歳の門出を祝いました。

式典では、全員で村民憲章を朗読後、田中村長から祝辞が、児玉村議会議長から祝辞が述べられました。続いて、赤石妃陽さんと金森夕苺さんが誓いの言葉を、鈴木朱那さんと渡辺堅成さんが、これまで支えてくれた方々への謝辞を力強く述べました。

式典後の祝宴では、4人の成長の軌跡をたどるスライドショーが上映され、幼い日の姿が映し出されると、会場から笑みや感嘆の声が漏れました。乾杯後は和気あいあいと思い出話に花が咲き、会場は終始温かな雰囲気包まれていました。

人生の大きな節目を祝った4人は胸に秘めた決意を糧に、それぞれの光り輝く未来へ向かって新たな一歩を踏み出しました。

